

【東京・無年金障害者をなくす会 学習会（第21期第1回例会）】

資料代 会員無料 会員外300円

え〜っ！障害年金が打ち切り？今、何が起きているのか知りたい！？

～私にとっての障害年金～

詳細は裏面

- ①井上英夫氏（金沢大名誉教授・佛教大学客員教授）「社会保障からみた障害年金打ち切り問題」
- ②市川亨氏（共同通信社・生活報道部）「第一線の記者が伝える障害年金打ち切り問題」
- ③当事者・家族らからの訴え「必要不可欠な障害年金／所得保障としての障害年金」

■日時：2018年10月28日（日）13時30分～15時30分（予定）

■場所：東京都聴覚障害者福祉事業協会 会議室

（〒160-0022 新宿区新宿2-15-27 第3ヒカリビル6F TEL 03-3352-3335）※地図は裏面を参照

JR・京王線・小田急線「新宿」駅東口か南口 徒歩12分、東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」駅1・3番出口 徒歩3分、東京メトロ丸ノ内線、東京メトロ副都心線、都営新宿線「新宿三丁目」駅C8出口 徒歩5分、西武新宿線「西武新宿」駅 徒歩12分、東京メトロ丸ノ内線、東京メトロ副都心線、都営新宿線「新宿三丁目」駅C8出口 徒歩5分、西武新宿線「西武新宿」駅 徒歩12分

■主催団体 東京・無年金障害者をなくす会

〒169-0072 東京都新宿区大久保1-1-2 日本障害者センター内
TEL03-3207-5636 FAX03-3207-5628

★学習会終了後に第21回総会を行います。

- ・16～17時の実施を予定しています。
- ・議決権はありませんが、会員外でも参加できます。



障害年金打ち切り問題はなぜ起きたのか・・・障害をもつ人の所得保障を一緒に考えましょう！

【障害年金打ち切り問題とは・・・】

2018年5月29日 日本年金機構が障害基礎年金受給者 1,010 人に対して、打ち切りを予告する文書を送付していたことが判明・・・

2018年6月1日 20歳以降に障害をもった障害基礎年金受給者のうち約2,900人が、昨年4月から1年間に支給打ち切りであったことが判明・・・

2018年6月21日 1,010人以外に、新たに約1,000人が昨年4月からの1年間で、年金を打ち切られていたことが「障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会」と厚生労働省、日本年金機構との懇談で判明・・・

2018年7月4日 日本年金機構が障害基礎年金受給者 1,010人に対し、厚生労働省は4日までに通告を撤回する方針を明らかに・・・

2018年7月6日 加藤勝信厚生労働相は、認定手続きの変更のため昨年4月からの1年間で支給を停止された約2,900人を再調査し、障害等級に該当すれば停止月までさかのぼって支給する考えを明らかに・・・

背景⇒都道府県別に行っていた認定審査手続きを2017年4月から障害年金センター(東京)に一元化されたことが影響・・・。

打ち切りが撤回されたのは、当事者や障害者団体などが厚労省などに強く要望したからです。しかし、撤回されたからといって安心できるのでしょうか？障害をもつ人の所得保障の根幹をなすものが「障害年金」であるにも関わらず、このような事態が生じてしまうのは、何故なのでしょう？今、日本の社会保障をめぐり一体何が起きているのでしょうか？参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

今回の学習会では、障害をもつ人の権利保障について詳しい金沢大学名誉教授・佛教大学客員教授の井上英夫氏をお迎えし、「障害年金打ち切り問題」について社会保障の観点からお話を伺います。また、共同通信社生活報道部の記者・市川亨氏をお迎えし、今回の「障害年金打ち切り問題」取材した立場から見てきたこととお話していただきます。さらに、数名の当事者・家族から「障害年金の必要性」、「無年金障害者であることの理不尽さ」などを訴えていただきます。ぜひご参加ください。



学習会後に、第21回総会（16時～17時）を行います。併せてご参加ください！

【東京・無年金障害者をなくす会の紹介】 ●障害年金は複雑で、受給するためには一苦労、 ●障害年金が受給できずに困っています、 ●受給しているけど、もしかしたら打ち切られるかも・・・そんな思いを抱えている当事者、家族、支援者の方は少なくないと思います。／当会が目指しているのは、「無年金障害者」をなくすことです。／年に2回程度学習会を開いています。ぜひ会員になってください！年に数回、会報を発行しています。年会費1,000円です。当日、受付でお支払いいただければ、今回の参加費はいただきません。